

コミュニケーションについて考えよう ～本人の声をきく それって機器？～

【支援者対象】

「コミュニケーションに役立つ機器はありますか？」というご相談をいただくことがあります。

大切なのは「誰と」「どんな場面で」「どんな会話をしたいか」ということです。アクセシビリティや機器の導入前後のアセスメントのヒントになるよう、事例も交えてお話いただきます。

難病患者や肢体不自由児者のコミュニケーション支援について、改めて一緒に学んでみましょう!!

会場：かがわ総合リハビリテーション福祉センター
2階研修室（高松市田村町1114）

10時～12時

研修会（2階研修室）

・「コミュニケーションについて考えよう」

講師：高橋宜盟氏

・かがわ障害者ICTサポートセンターの紹介

9/12

（土）

参加無料

12時～13時

見学体験（かがわ障害者ICTサポートセンター）

iPadやiPhone、専用の機器を実際に体験してみましょう！指伝話（意思伝達装置）や各種スイッチ、視線入力装置などを実際に触ってみてください。

お申込みQRコード

※申し込み完了メールはありません



【講師プロフィール】

高橋宜盟氏（たかはし・よしあき）

一般社団法人結ライフコミュニケーション研究所・代表理事／研究員。アクセシビリティ・コーディネーターとして、病気や障害のある人たちにICTを活用したコミュニケーション・日常生活支援を行っている。2021年から東京慈恵会医科大学先端医療情報技術研究部の訪問研究員として、アクセシビリティサポートセンター（ASC）でも活動中。コミュニケーションアプリ「指伝話（ゆびでんわ）」の開発販売元の有限会社オフィス結アジア代表取締役。1965年愛媛県新居浜市生まれ。



【お問い合わせ】

かがわ障害者ICTサポートセンター（かがわ総合リハビリテーション福祉センター内）

087-867-7686

担当者：松村、大野、篠原